



WILD BIRD SOCIETY OF JAPAN・SAITAMA

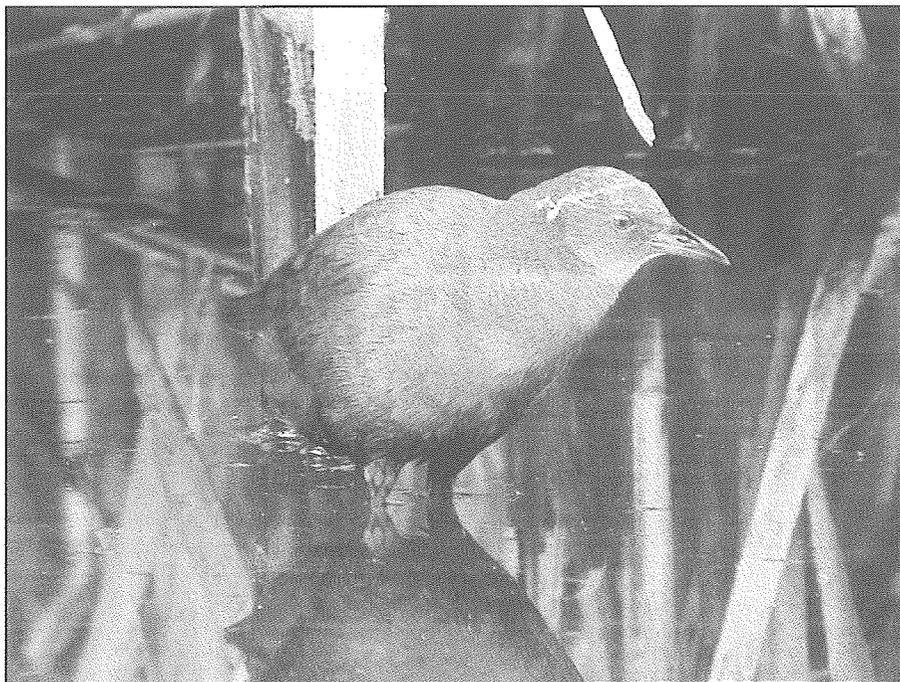
# しらこぼと

## 2004.8

No.244

日本野鳥の会 埼玉県支部

S H I R A K O B A T O



## 平成 16 年度(第 20 回)支部総会を開催

平成 16 年 6 月 27 日 (日) 午後 1 時 30 分から、埼玉会館 7 階会議室で、支部総会を開催しました。

### ● 記念講演



司会は田邊八州雄が担当して、記念講演は、本部普及室の景山誠(写真左)、横田智(写真右)両氏の「日本野鳥の会の普及事業の現状について」。質問や意見などが相次ぎ、予定時間をオーバーする活発な講演でした。

### ● 議長など

藤掛保司支部長の開会の挨拶で総会が始まり、橋口長和が議長に、石光章が書記、石川敏男・福井恒人が議事録署名人に選出されて、議事に入りました。

### ● 15 年度事業報告と 16 年度事業計画 (案)

海老原美夫事務局担当副支部長が平成 15 年度に実施した事業について説明し、各部長がそれぞれ補足説明、普及部担当以外の学校や公民館などの探鳥会を指導したリーダーたちが、普及活動に関して追加報告をしました。

主な説明は次の通り。

#### [総務・事務局関係]

15 年度末の会員数は 2,485 人。引き続き減少したが、減少率は下がっている(13 年度 5.4%、14 年度 4.2%、15 年度 3.6%)。本部の理事会・評議員会と関東ブロック協議会に参加した。

#### [普及活動関係]

普及部(部長:榎本秀和から橋口長和に交代)が担当した探鳥会は、実施 100 回、1 ヶ月平均 8.3 回。参加者合計 4,427 人、1 回平均 44.3 人。実施回数は減少したが、合計参加

者数と 1 回平均参加者数は増加した。

#### [調査研究関係]

研究部(部長:小荷田行男)はタカの渡り、カモ・ハクチョウ類、シギ・チドリ類の調査を継続した。

記録委員会(委員長:小林みどり)は 2 種を県内まれな例として、3 種を初の記録として記録した。県内野鳥チェックリスト 2003 年版を作成した。

#### [編集活動関係]

編集部(部長:山部直喜)は『しらこぼと』を年 12 回、合計 28,800 部発行した。

#### [事業活動関係]

事業部(部長:福井恒人)は目標売上額を上回った。

16 年度事業計画(案)は、基本的な従来の活動を確実に継続する方針が説明され、それぞれ承認されました。

### ● 15 年度決算と 16 年度予算 (案)

事務局担当が、15 年度の支出総額は予算内に押さえられたこと、仮払金の清算、あるいは仮払金残というのは、普及部費用と編集部費用を予算額そのまま仮払金として一時支出し、次の年度で清算しているものであることなどを説明しました。

岡安征也監事が監査報告をして、楠見邦博監事の手紙を代読、引き続き説明された 16 年度予算案とともに異議なく承認されました。

### ● 16 年度役員

中村榮男・吉安一彦両名から、健康上の理由などで退任したいとの申し出が役員会に寄せられました。前年度役員のうち 33 名を再任、新たに井上幹男・喜多峻次・長嶋宏之・長野誠治・町田好一郎の 5 名を推薦する案が承認されました。

新役員挨拶の後、総会を一時中断して 16 年度役員による最初の役員会を同じ場所で開催、支部長・副支部長・監事は前年度と同じ

とすることが議決されました。

**平成 16 年度役員**

顧問	鈴木忠雄	熊谷市
	松井昭吾	さいたま市
支部長	藤掛保司	川越市
副支部長	海老原美夫	さいたま市
幹事	石井 智	鴻巣市
	石川敏男	春日部市
	石光 章	所沢市
	伊藤芳晴	川口市
	井上幹男	長瀨町
	榎本秀和	鴻巣市
	大坂幸男	上尾市
	喜多峻次	小川町
	北川慎一	本庄市
	工藤洋三	さいたま市
	倉林宗太郎	さいたま市
	小池一男	寄居町
	後藤康夫	嵐山町
	小荷田行男	さいたま市
	小林みどり	大和市
	佐久間博文	川越市
	島田恵司	鴻巣市
	杉本秀樹	習志野市
	高草木泰行	新座市
	田中幸男	蓮田市
	田邊八州雄	越谷市
	玉井正晴	蓮田市
	手塚正義	川口市
	内藤義雄	鴻巣市
	中里裕一	騎西町
	中島康夫	蓮田市
	長嶋宏之	蓮田市
	長野誠治	岩槻市
	橋口長和	春日部市
	長谷部謙二	川越市
	菱沼一充	白岡町
	福井恒人	さいたま市
	町田好一郎	本庄市
	山部直喜	三郷市
監事	岡安征也	北本市
	楠見邦博	さいたま市



**新役員**

上左から、  
井上、喜多、長嶋、  
長野、町田



**15 年度決算と 16 年度予算**

**収入の部**

	項 目	15年度決算	16年度予算	
一般会計	期首繰越金	3,480,072	3,901,124	
	会費	3,725,050	4,000,000	
	寄付金	11,028	10,000	
	探鳥会参加費	288,070	300,000	
	雑収入	37,487	10,000	
	補助金	400,000	400,000	
	仮払い金清算	31,475	0	
	一般会計合計	7,973,182	8,621,124	
	事業部会計	期首繰越金	1,342,336	1,552,201
		運営準備積立金	5,000,000	5,000,000
売上金		749,823	700,000	
雑収入		5,681	3,000	
事業部会計合計		7,097,840	7,255,201	
総合計		15,071,022	15,876,325	

**支出の部**

	項 目	15年度決算	16年度予算	
一般会計	什器備品費	42,940	100,000	
	消耗品費	19,105	20,000	
	支部報印刷費	1,052,352	1,100,000	
	支部報発送料	1,075,620	1,200,000	
	印刷コピー代	307,531	200,000	
	通信費	145,269	150,000	
	雑費	87,345	100,000	
	家賃	913,000	1,000,000	
	水道光熱費	50,926	60,000	
	総務部費用	102,250	100,000	
	普及部費用	173,406	220,000	
	編集部費用	50,000	50,000	
	研究部費用	5,720	10,000	
	予備費	0	500,000	
	仮払金残	46,594	0	
	期末繰越金	3,901,124	3,811,124	
	一般会計合計	7,973,182	8,621,124	
	事業部会計	仕入代金	543,959	500,000
		事業部費用	1,680	10,000
		運営準備積立金	5,000,000	5,000,000
期末繰越金		1,552,201	1,745,201	
事業部会計合計		7,097,840	7,255,201	
総合計		15,071,022	15,876,325	

# 2004年春 シギ・チドリ類調査報告

日本野鳥の会埼玉県支部研究部

日時：2004年4月29日 9：38～11：30

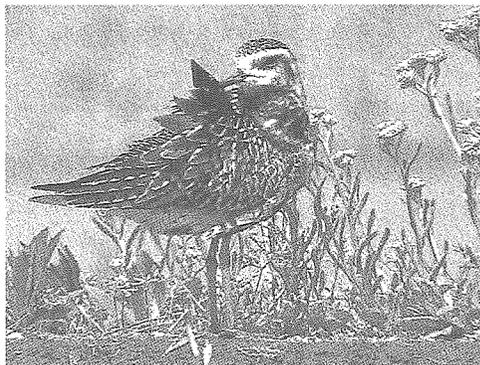
場所：さいたま市 大久保農耕地

天候：快晴

4月29日に大久保農耕地でシギ・チドリ類の調査を行いました。当日は低気圧が北海道の東の海上に遠ざかり、高気圧に広く覆われ、絶好のカウント日和となりました。また連休の初日にもかかわらず、支部会員29名の協力が得られました。ご苦労さまでした。

観察された鳥類・個体数は6種432羽で、昨年の春と比較すると、種類は同じですが個体数では226羽多くなりました。

これはムナグロが8年ぶりに、400羽を越え、413羽を記録したためです。ムナグロ以外のシギ・チドリ類の個体数は19羽で、昨年



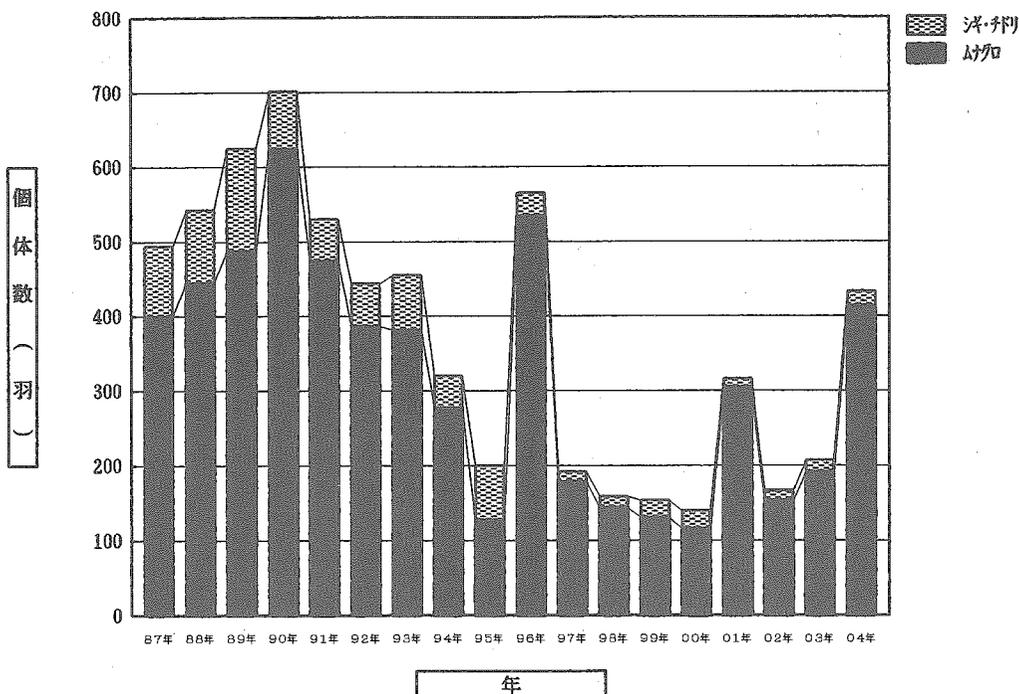
ムナグロ（編集部）

と比べても3羽多いだけでした。

グラフは大久保農耕地におけるムナグロとそれ以外のシギ・チドリ類の個体数を、表は今までのカウント結果をまとめたものです。

（石井 智）

ムナグロとそれ以外のシギ・チドリ類



## 春のカウント結果 (大久保農耕地)

年	1987	1988	1989	1990	1991	1992	1993	1994	1995	1996	1997	1998	1999	2000	2001	2002	2003	2004	合計		
調査日	4/29	4/29	4/29	4/29	4/29	4/29	4/29	4/29	4/29	4/29	4/29	4/29	4/29	4/29	4/29	4/29	4/29	4/29			
天候	晴れ	雨	晴れ	曇り	雨	晴れ	晴れ	晴れ	晴れ	晴れ	快晴	快晴	曇り	晴れ	曇り	晴れ	晴れ	快晴			
1	タマシギ			2															2		
2	コチドリ	5	1	2	1	1	4			7	1		1	2	5	2	6	9	4	51	
3	シロチドリ				1															1	
4	ムナグロ	400	444	488	624	474	386	381	277	127	534	178	143	130	115	304	153	190	413	5761	
5	ケリ																1			1	
6	キョウジョシギ	3	7	2	2					2	1			2	4		2	1		1	27
7	トウネン				1															1	
8	ウズラシギ	2		2		1	1													6	
9	ハマシギ	2		10	30			24	1		9									76	
10	アオアシシギ			4		2	1	7	3				7							24	
11	タカブシギ	50	52	69	16	4	6	6	13	25	5			1	5	2	1	1	6	262	
12	キアシシギ	2			3								2	1					2	10	
13	イソシギ	2		1								1						1		5	
14	オグロシギ				1															1	
15	チュウシャクシギ	12	6	7	8	3	1	13	12	11	3	10	2	5	11	4	2	3	6	119	
16	コシャクシギ				1															1	
17	タシギ	14	30	39	11	43	36	21	10	26	12	3	6	3	3		1	2		260	
18	オオジシギ															1	1			2	
	ジシギ属	1	1				3	2	1	2		1								11	
19	アカエリヒレアシギ		1																	1	
	シギ類						5													5	
合 計	493	542	624	701	528	443	454	319	199	564	191	158	153	139	315	166	206	432	6627		

### ゲンコーホシイ、ゲンコーホシイ 編集部

「ゲンコー（原稿）」を甲高く、「ホシイ（欲しい）」を尻下がりに発声すれば、編集鳥（長）のさえずり、及び地鳴きです。

一般原稿での内容は、日常生活で「あれ!」と感じた事、「なるほど」と思った事、観察会で楽しかった事などそれぞれ自由です。文字数でいえば、400から2000字程度に収めていただけると編集が容易です。

特集ページの原稿もお願いします。先月号3頁右下でもお知らせしましたが、あなたのフィールド紹介はいかがでしょうか。そこの記録を印刷物に残す事、それだけでも大きな自然保護になります。是非お願いします。

原稿以外に、写真、カットも大歓迎です。

送付方法や送付先は『しらこぼと』の最終ページに載っています。特に編集部への原稿や野鳥情報には専用のメールアドレスもあります。

原稿欲しい、原稿欲しい、原稿欲しい。

### 暑中閑話

北本市・ゴルフ迷人（北本市）

電車の中でのこと。隣に座った二人の会話に鳥の名前がよく出てくる。1ホールを規定打数で回ることをパーといい、それより1打少ないスコアでホールアウトすると「バーディ（小鳥）」という。昔、飛ばし屋がいて、ボールに羽が生えたように飛ぶ、と感じられたということだろう。さらにパーより2打少ないスコアであるものが現れ、鳥の王者「イーグル（ワシ）」になぞらえて称えられた。ところが、さらにすごい3アンダーパーが記録されたので、今度は海洋を飛翔するアホウドリにちなんで「アルバトロス」と命名されたとのこと。アマチュアゴルファーとも鳥仲間になれそうだ。いまではワシもアホウドリも、絶滅が危ぶまれる鳥になってしまった。高いスコアでホールアウトできたら、私ならさしずめ「エンジェル」とでも名づけてゴルフは卒業と行きたい。



## 野鳥情報

**JR 新三郷駅跨線橋** ◇4月29日、チョウゲンボウ♂が跨線橋の穴にさかんに出入りしている。5月2日、東京行きのプラットホームから穴の中で座っている成鳥個体を確認。同月15日、ヒナの少なくとも3羽を確認。同月20日頃、巣立ちした様子。今年度、ここで交尾を見たのは1月27日(山部直喜)。

**三郷市三郷団地中央商店街** ◇6月19日、壁に沿うコード上のツバメの巣に気づく。もともと巣の背中側は壁についていたようだが、何かのはずみで壁からはがれたらしく、真下から見るとコードの上に営巣したように見える。巣の下にたれている電球がちょうど重石となって微妙なバランスをとっている。親がえさを運んでくるたびにゆらゆら揺れている(山部直喜)。

**越谷市** ◇マンション11階の自宅ベランダでハクセキレイと思われる鳥が現れ、木製プランターに巣を作り、ついに5月8日、卵を産み、あたため始めました! 卵は4個。先日からビデオカメラを設置し記録を録っております(宮本康弘)。

**越谷市恩間新田** ◇今年も多数のサギたちがコロニーを作り繁殖の真っ最中。コサギ、チュウサギ、ダイサギ、ゴイサギの4種。アマサギは確認していない。私は今年も自宅周辺でも多いときで3羽の群れを2、3回確認したに過ぎない。アマサギは畦や農道、水路沿いで採餌することが多いから、除草剤が使われると、餌となる昆虫類や蛙などがいなくなり影響を受けるのではない



コード上のツバメの巣(山部直喜)

かしらん。なお、営巣するサギ類の個体数は多いが、竹林の北に水田を隔てて住んでおられる農家のご主人に聞いたところ、昨年とのことですが、夜明け前からの観察では、400羽まで数えられたとの事。ひとつの参考にはなると思います。(石川敏男)。

**朝霞市滝の根公園** ◇5月6日、メボソムシクイのさえずり、アカハラ1羽(宮寺充)。

**春日部市内牧** ◇5月6日、内牧公園近くでエゾムシクイの声。宮代側林床でクロジ3羽十。♀と♂若鳥を確認(鈴木紀雄)。

**春日部市武里** ◇5月22日午後4時頃、武里団地内の森林公園でホトトギスとはっきりわかる声を3回ほど聞きました(石川敏男)。

**春日部市中野** ◇5月25日午前9時頃、家人が自宅北東方向からカッコウの声を聞く。5月27日、5月29日にもカッコウの声を確認(石川敏男)。

**春日部市増田新田** ◇5月27日午前1時15分頃、ホトトギスが鳴きながら深夜の自宅上空を北へ向かうのを聞きました(石川敏男)。

**岩槻市南平野** ◇5月13日、元荒川の水面に浮くカルガモの群れにマルガモ(カルガモとマガモの雑種)1羽(鈴木紀雄)。

**岩槻市尾ヶ崎** ◇5月20日、水田でチュウシヤクシギ6羽。5月21日、前日と同じ水田でムナグロ9羽(鈴木紀雄)。

**岩槻市野孫** ◇5月21日、水田及び農道でケリ6羽。時折飛び回り、1羽は近くのカルガモを上空から攻撃していた。5月29日、ケリ2羽。6月10日、ケリ2羽(鈴木紀雄)。

**岩槻市高曾根** ◇5月28日、水田でケリ3羽(鈴木紀雄)。

**蓮田市黒浜** ◇5月13日、ムナグロ約120羽の中にチュウシヤクシギ1羽、キアシシギが4羽(鈴木紀雄)。

**蓮田市蓮田** ◇6月4日朝、根ヶ谷戸公園でホトトギス1羽、シメ2羽(本多己秀)。

**さいたま市見沼区片柳** ◇5月11日、林内でさえずるキビタキ♂1羽(鈴木紀雄)。

**さいたま市見沼区深作～丸ヶ崎** ◇5月15日、ムナグロ26羽、タシギ3羽、イソシギ1羽、ゴイサギ成鳥1羽、幼鳥4羽、コアジサシ1羽、バン1羽、カワウ4羽、セッカ、ダ

イサギ2羽、アオサギ2羽、キジ♂2羽、コガモ。オオヨシキリ、ヒバリ、ツバメ、カルガモ多数（本多己秀）。

さいたま市見沼区深作 ◇5月19日、ムナグロ4羽、タシギ3羽、キアシシギ1羽、ゴイサギ成鳥2羽、幼鳥6羽、ダイサギ1羽、アオサギ1羽、オオヨシキリ、セッカ（本多己秀）。

さいたま市見沼区丸ヶ崎町 ◇5月30日午後2時頃、カッコウの声を聞く（藤原真理）。

さいたま市桜区秋ヶ瀬公園 ◇5月11日、ピクニックの森でセンダイムシクイ、キビタキ、イカル（鈴木紀雄）。

さいたま市桜区大久保 ◇5月23日、A区で孤独なアオアシシギ1羽（鈴木紀雄）。

さいたま市北区吉野町2丁目 ◇5月11日午後2時頃、屋敷林でメボソムシクイが「ゼニトリゼニトリ」と鳴いていた（藤原寛治）。

さいたま市北区植竹町 ◇5月31日、北区役所の工事現場をフェンスで囲み、デコイ、逆さのU字溝を置いたコアジサシのコロニーを観察。フェンスに開けられた穴から覗くと70~80番いそう。あちこちにかわいいヒナの姿。こういう場所が恒常的に存続すると良いのですが、来年はどうなってしまうのか（鈴木紀雄）。

さいたま市緑区見沼 ◇5月15日午後5時15分、カッコウ1羽、北方面から飛来するのを目撃、初鳴きを確認しました（落合英二）。

さいたま市緑区大牧 ◇5月28日、鉄塔で鳴くカッコウ1羽（鈴木紀雄）。

福川市茗宮 ◇5月16日午前9時、カッコウ1羽、自宅ベランダから駅の方へ鳴きながら飛んで行く姿を見る。今期初認。5月19日午前9時20分、自宅ベランダから南側の棟の屋上にあるパラボラアンテナの上でカ



ムギマキ（菱沼一充）

ッコウが鳴く（立岩恒久）。

狭山市智光山公園 ◇5月8日、ジュウイチ、キビタキ、イカル、アオゲラ、シメ、ヤマガラなど（久保田忠資）。

狭山市北入曾 ◇5月18日、カッコウ初認（久保田忠資）。

川本町荒川明戸堰上流 ◇4月24日午前、右岸沿いの林でヒレンジャク約20羽。水を飲み川岸まで素早く往復した。ケリ1羽、鳴きながら飛行後、岸辺で採餌（鈴木敬）。

寄居町風布 ◇5月8日午前、浄水場付近でサンコウチョウの声。風布川沿いでオオルリ、キビタキ、イカル、アオジのさえずり。5月15日朝、秩父大師方面分岐の林でサンコウチョウ♀1羽（鈴木敬）。

吉田町頼母沢 ◇5月15日午前9時頃、秩父の破風山への登山道でサンコウチョウ、「ホイホイホイ」と懐かしいさえずりを5回ほど聞く。他にツツドリ、アオバト、クロツグミ、オオルリ、イカルのさえずりを数回聞く（立岩恒久）。

横瀬町県民の森 ◇5月22日、マミジロ♂♀各1羽、キビタキ、コルリ、クロツグミ、コガラ。ジュウイチの声が各所で聞こえ、林内を滑翔する1羽を確認（鈴木敬）。

東松山市都幾川 ◇5月29日、マガモ♂♀各1羽（登坂久雄）。

#### 表紙の写真

#### ヒクイナ（ツル目クイナ科ヒメクイナ属）

愛用のデジカメを壊してしまい、修理に出している間に別のデジカメを購入。そのカメラのテストに出かけた北本自然観察公園で逢ったのがこの子（ヒクイナ）でした。特徴のある鳴き声にその場でじっと待つこと30分。周りに人がいなかったことも幸いして、愛らしい姿を披露してくれました。草むらの中を歩いているうちに引っ掛けたのでしょうか、頭には白い蜘蛛の巣のネットをかぶっていました。

写真と文：長谷川訓寿



### 『しらこぼと』袋づめの会

とき：8月21日(土)午後3時～4時ごろ  
会場：支部事務局108号室  
案内：「夏木立 せみとり」昔、夏休みの習字の宿題にありました。子供たちは、休みの残り日を数える頃となり、幾分朝夕が涼しくなりました。でもまだまだ暑い日中です。ご苦勞なことです、秋のお出かけ情報の交換をもちかねて、いかがでしょうか、お出かけください。

### 千葉県習志野市・谷津干潟探鳥会

期日：8月22日(日)  
集合：午前9時30分、JR武蔵野線南船橋駅改札口付近。  
交通：JR武蔵野線武蔵浦和8:34→南浦和8:37→南船橋9:26着  
担当：杉本、菱沼(一)、手塚、長谷部、伊藤  
見どころ：アオサが増えてシギ・チドリが減ったといわれていますが、今年も珍鳥が出現しました。海が荒れると普段は見られない鳥が避難してくるからです。もしかして、荒天のほうがおもしろいかも？ 雨が降っても谷津干潟！です。  
注意：日差しは暑い！ 帽子は忘れずに。

### 千葉県船橋市・船橋海浜公園探鳥会

期日：8月29日(日)  
集合：午前9時30分、JR総武線船橋駅改札口付近。集合後京成バス9:40発船橋海浜公園行きに乗車、終点下車。  
交通：JR武蔵野線南浦和8:30→西船橋にて総武線乗り換え、船橋下車。  
担当：佐久間、菱沼(一)、玉井、齋藤、高橋(優)  
見どころ：今この時期、残暑厳しくぐったり。こんなときこそ出かけて、鳥見をして元気を出しましょう。三番瀬はシギ、チドリの最盛期です。春とは違い地味な色で、少し頭の体操になります。  
注意：海浜は日差し紫外線が強く、日陰もありませんので、それなりの防御をしてください。飲み物も忘れずに。

### リーダー研修会(要予約)

期日：9月5日(日)  
午前9時30分～午後5時  
会場：埼玉県自然学習センター  
(北本市荒井5-200 TEL 048-593-2891)  
<http://www.pref.saitama.jp/A09/BD01/>  
交通：JR高崎線北本駅西口アイメガネ前から北里メディカルセンター病院行きバス8:40発にて「自然観察公園前」下車。  
申し込み：初めてリーダー研修に参加される方は、8月10日までに往復はがきにて住所、氏名、年齢、性別、電話番号を明記して、普及部橋口長和( )

リーダーも必ず参加申し込みをTELにてしてください。

参加資格：探鳥会や、支部活動にリーダーとして協力できる支部会員。

案内：当支部は会員のボランティアで、探鳥会の運営をはじめすべての支部活動を行っています。貴方の新鮮な力をお貸しください。

支部の歴史を学んだり、ケーススタディーの探鳥会でリーダーの役割などを実習したり、皆で意見交換をしたりします。

注意：野鳥の識別の勉強や、野鳥の会本部の検定などとは全く関係ありません。

その他：筆記用具は持参のこと。昼食は当方で用意いたします。



クロジ (久保田忠資)



## 行事報告

3月20日(土) 『しらこぼと』袋づめの会

ボランティア: 15名

青木里美、青木なつみ、青木正俊、江浪功、海老原教子、海老原美夫、大坂幸男、尾崎甲四郎、佐久間博文、島田貴子、志村佐治、藤掛保司、藤野富代、松村禎夫、水谷真人

3月21日(日) さいたま市 三室地区

参加: 55名 天気: 快晴

カイツブリ カワウ カルガモ コガモ オナガガモ ハシビロガモ ヒドリガモ チョウゲンボウ クイナ イカルチドリ コチドリ バン キジバト カワセミ コゲラ ヒバリ ツバメ ハクセキレイ セグロセキレイ タヒバリ ヒヨドリ モズ ジョウビタキ ツグミ ウグイス シジュウカラ メジロ ホオジロ カシラダカ アオジ オオジュリン カワラヒワ シメ スズメ ムクドリ ハシブトガラス ハシボソガラス (37種) 前日に春の雪が降り、土の色が黒々としていた。快晴の見沼田んぼには花々が咲き誇っていた。市立病院の咲き始めた桜と田んぼの桃畑のピンク色が目立った楽しい探鳥会であった。(楠見邦博)

3月21日(日) 坂戸市 高麗川

参加: 46名 天気: 晴

カイツブリ カワウ ダイサギ アオサギ マガモ カルガモ トビ オオタカ ハイタカ コジュケイ キジ バン コチドリ イカルチドリ イソシギ キジバト カワセミ コゲラ ツバメ イワツバメ キセキレイ ハクセキレイ セグロセキレイ ヒヨドリ モズ ジョウビタキ シロハラ ツグミ ウグイス エナガ シジュウカラ メジロ ホオジロ カシラダカ アオジ カワラヒワ ベニマシコ イカル シメ スズメ ムクドリ カケス オナガ ハシボソガラス ハシブトガラス (45種) カワセミは、♂のみの出現だったが、代わりにモズの♂♀の識別ができた。天神橋手前の竹やぶ周辺が舗装されたが、城西大学グラウンド周辺の補修はいつになるのだろうか。川

の水位が下がり、鳥合わせ場所の中州にはカメラマンの車が入って野鳥を撮影していた。46名参加で45種の観察。帰り道で1種不足を話していたら、ヒバリも鳴いていたとの情報。46種に変更したかったが残念。(藤掛保司)

3月28日(日) 栃木県日光市 東照宮裏山

参加: 57名 天気: 晴

オシドリ トビ ノスリ キジバト コゲラ イワツバメ キセキレイ ハクセキレイ セグロセキレイ ヒヨドリ カワガラス ミソサザイ キクイタダキ エナガ コガラ ヒガラ シジュウカラ ホオジロ アオジ マヒワ ベニマシコ スズメ カケス ハシボソガラス ハシブトガラス (25種) スタート直後、大谷川でカワガラスを見ていたら、岩陰でじっとしているオシドリのペアに気が付いた。1998年以来の出現だった。目玉のミソサザイも何とか見ることができ、防寒対策と案内に書いたのが余計なお世話になった好天気にも恵まれ、楽しい探鳥会だった。(玉井正晴)

3月28日(日) 行田市 さきたま古墳公園

参加: 23名 天気: 快晴

カイツブリ カワウ ダイサギ コサギ マガモ カルガモ コガモ バン キジバト コゲラ ヒバリ ハクセキレイ ビンズイ タヒバリ ヒヨドリ モズ シロハラ ツグミ ウグイス シジュウカラ メジロ アオジ カワラヒワ シメ スズメ ムクドリ カケス オナガ ハシボソガラス ハシブトガラス (30種) 集合地点でコゲラの巣作りを全員で観察。ケヤキに懸命に♀で工事中。シメの水飲みは木のまたの窪み。ダイサギは古墳の頂でスッキと立ち、シジュウカラは柳の枝でブランコと、楽しい姿を見ることができた。春うららの日なのに、ツバメが見られなかったのは残念。それに、定番ジョウビタキの姿もなかったのは、暑すぎて木陰で休息中だったのかも知れない。(内藤義雄)

3月28日(日) 狭山市 入間川

参加: 33名 天気: 快晴

カイツブリ カワウ ダイサギ コサギ アオサギ マガモ カルガモ コガモ コチドリ キジバト カワセミ コゲラ ツバメ イワツバメ キセキレイ ハクセキレイ セグロセキレイ ヒ

ヨドリ モズ ジョウビタキ ツグミ エナガ  
シジュウカラ メジロ ホオジロ カシラダカ  
アオジ オオジュリン カワラヒワ シメ スズ  
メ ムクドリ ハシブトガラス (33種) 半年ぶりにツバメやコチドリと再会し、残り少なくなったカモたちとお別れ。そして、花見前の静かな稲荷山公園で、ビンズイやキツツキの仲間を探すのがいつもの流れ。しかし、今年はずでに桜が五分咲き。ものすごい人出で、鳥の姿はなく、早々に鳥合わせ、解散となった。(長谷部謙二)

4月11日(日) 熊谷市 大麻生

参加：71名 天気：晴

カワウ カルガモ オオタカ コジュケイ キジ  
キジバト カワセミ コゲラ ヒバリ ツバメ  
ハクセキレイ セグロセキレイ ヒヨドリ モズ  
アカハラ ツグミ ウグイス セッカ シジュウ  
カラ メジロ ホオジロ カシラダカ アオジ  
カワラヒワ マヒワ シメ スズメ ムクドリ  
カケス ハシボソガラス ハシブトガラス (31  
種) 集合時、上空をカケス40羽程の群れが通過。  
サクラ堤を野鳥の森へと進む。途中、水溜りで水  
浴びするツグミ、シメ、アオジを観察。少し歩を  
進めると、マヒワが数羽姿を見せる。野鳥の森で  
はカワセミの雄雌が、池の対面に現れて、参加者  
一同は釘付け状態。鳥合わせもままならず……。  
野鳥たちに楽しませてもらった充実した1日だっ  
た。(後藤康夫)

4月17日(土) 『しらこぼと』袋づめの会

ボランティア：11名

新井浩、伊藤泰一郎、海老原教子、尾崎甲四郎、  
佐久間博文、志村佐治、藤掛保司、藤野富代、増  
尾隆、松村禎夫、百瀬修

4月18日(日) さいたま市 三室地区

参加：90名 天気：快晴

カイツブリ カワウ コサギ アオサギ カルガ  
モ コガモ ハシビロガモ オオタカ チョウゲ  
ンボウ コジュケイ キジ バン コチドリ キ  
ジバト カワセミ コゲラ ヒバリ ツバメ ハ  
クセキレイ ヒヨドリ モズ ツグミ ウグイス  
セッカ シジュウカラ メジロ ホオジロ アオ  
ジ カワラヒワ シメ スズメ ムクドリ オナ  
ガ ハシボソガラス ハシブトガラス (35種) 支

部発足20年目の月を祝うように、見沼田んぼは新  
緑にあふれ、天気も快晴であった。藤掛支部長、  
海老原副支部長が参加し、本部や支部の現況につ  
いて話をし、自然保護のために会員の増加を呼び  
かけた。参加者は90名と多くにぎやか。ヒバリや  
ウグイス、キジが鳴き、鳥も人も華やいだ春の探  
鳥会だった。(楠見邦博)

4月25日(日) 東松山市 物見山

参加：38名 天気：快晴

サシバ コジュケイ キジ キジバト ホトトギ  
ス コゲラ ツバメ ヒヨドリ アカハラ ツグ  
ミ ウグイス センダイムシクイ エナガ シジ  
ュウカラ メジロ ホオジロ スズメ ムクドリ  
ハシボソガラス ハシブトガラス (20種) 埼玉県  
支部20周年記念探鳥会。参加者に『しらこぼと』  
創刊号のコピーを配布した。天候にも恵まれ、森  
林浴を楽しみ、エナガが雛に餌を与える様子や、  
メジロの囀り、ガビチョウの鳴き声などを観察で  
きた。鳥合わせは林久美子さんをお願いしたが、  
記念に合わせたように20種だった。(藤掛保司)

4月25日(日) さいたま市 秋ヶ瀬公園

参加：72名 天気：晴

カワウ ゴイサギ ダイサギ カルガモ コガモ  
オナガガモ タシギ キジバト ヒバリ ツバメ  
ハクセキレイ ヒヨドリ モズ アカハラ ツグ  
ミ センダイムシクイ オオルリ シジュウカラ  
メジロ アオジ カワラヒワ シメ スズメ ム  
クドリ カケス オナガ ハシボソガラス ハシ  
ブトガラス (28種) 美しき小さな鳥に引きずられ、  
あっちにぞろぞろ、こっちにぞろぞろ。オオルリ  
が高い木の上に出て、8割程の人が見られたので、  
幸いだった。(倉林宗太郎)



カルガモ (編集部)



●栃木県支部から支部長交代の連絡

新支部長 河地辰彦

●渡良瀬貯水池干し上げに関する小委員会

6月18日(金)国土交通省利根川上流工事事務所地域連絡課から、渡良瀬貯水池水質改善検討委員会で決定された干し上げについて、鳥類への影響を検討するため、「干し上げに関する鳥類の調査検討小委員会(仮称)」を設置したいとの連絡がありました。

委員長は山階鳥類研究所の山岸哲所長、委員は同研究所茂田良光研究員と日本野鳥の会栃木県支部・茨城県支部・群馬県支部・埼玉県支部の各支部長となっています。

当支部としての対応を6月20日(日)の支部役員会で検討した結果、場合によっては代理出席することもあり得るが、7月2日(金)に予定されている第1回委員会には、藤掛支部長が出席することになりました。

●県内のクロジョウビタキの記録

山階鳥類研究所から、1987年と1988年に『しらこぼと』に掲載した旧浦和市内で2年連続して越冬したクロジョウビタキの記録について、日本産鳥類リスト(3)に掲載したとの連絡がありました。

このリストは、日本産鳥類目録とは別に、刊行物に掲載された希少鳥類の記録をまとめているものです。

●東京港野鳥公園 15 周年記念出版

当支部の何年前かの年末講演会で講師をお願いしたことがあり、本会の元理事・作家の加藤幸子さんから、『鳥よ、人よ、甦れー東京港野鳥公園の誕生、そして現在』を出版した

との案内が届きました。

当時、埋立地の野鳥生息地保存運動の代表を務めていた加藤さんの著書の本文を整理し、新たに現代社会からの視点を鮮明にした自然論を書き加え、公園のガイドブックもかねるよう配慮したとのこと。藤原書店(TEL 03-5272-0301) 2,310円(税込み)。

●事務局の予定

8月7日(土)編集会議、普及部会議、研究部会議。

8月14日(土)9月号校正(午後4時から)。

8月15日(日)役員会。

8月21日(日)袋づめの会(午後3時から)。

●会員数は

7月1日現在2,444人です。

活動報告

6月8日(火)本部常務会に出席(海老原美夫)。

6月12日(土)7月号校正(海老原美夫、大坂幸男、喜多峻次、志村佐治、藤掛保司)。

6月18日(金)谷口高司氏原画展オープニングパーティに会長代理として出席(海老原美夫)。

6月20日(日)役員会(司会:藤掛保司、各部の報告・12月までの行事予定・総会準備・その他)。

6月21日(月)7月号を発送(倉林宗太郎)。

編集後記

「うちでシラコバトが巣をかけているよ」と勤務先の近所の方から連絡。トラクターの車庫の中、立てかけた脚立の天板で営巣している。トラクターの運転席に座り、目の前3メートルの所でじっくり観察させてもらった。その後、5月末に無事巣立ちをしたとの連絡も頂いた。(山部)

しらこぼと 2004年8月号(第244号) 定価100円(会員の購読料は会費に含まれます)
発行人 藤掛保司 編集発行 日本野鳥の会埼玉県支部 郵便振替 00190-3-121130
〒330-0064 さいたま市浦和区岸町4丁目26番8号 プリムローズ岸町107号
TEL 048-832-4062 FAX 048-825-0460 http://www.bekkoame.ne.jp/ro/wbsj-saitm/
編集部への原稿 yamabezuku@hotmail.com 野鳥情報 toridayori@hotmail.com
住所変更退会などの連絡先 〒151-0061 渋谷区初台1-47-1 小田急西新宿ビル1階
(財)日本野鳥の会 会員室会員グループ TEL 03-5358-3511 FAX 03-5358-3608
本誌掲載記事はホームページに転載されます。本誌またはホームページからの無断転載は、かたくお断りします。再生紙を使用しています。 印刷 関東図書株式会社